

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】 笠岡市吉田
【時代】 ー
【指定年月日】 昭和31年11月1日
【所有】 稲田山神社
【見学】 可



えひめあやめのじせいち

エヒメアヤメ自生地

かんけい しまち
関係する市町

かさ おかし
笠岡市



この天然記念物について

エヒメアヤメは、アヤメ科アヤメ属そく そくに属し、正式な名前をタ
レユエソウともいう可憐かれんな植物です。低い山に生える多年草
で、春になると紫むらさきいろ色の花をつけます。花期は短く、一週間ぐ
らいで花が枯れます。

草丈は10～30cmと可愛かわいらしく、明治30年に愛媛県で確認さ
れたためにこの名がつけました。その後、西日本の各地で
自生地じせいちが発見され、現在では、愛媛県・広島県・山口県・佐賀
県・宮崎県じせいちの自生地が国指定天然記念物となっています。

市内では、かつては吉田のほかにも自生じせいしていた場所があっ
たそうですが、今ではその多くは確認できなくなっています。
現在確認されている範囲はんいでは、当地域とうちいきが日本で最も東の
自生地じせいち、すなわち、世界においても東限地帯ということになる
ため、学術的に見ても貴重きちょうな自生地じせいちといえます。